

# 祝 800号「こすど地区公民館報」

昭和24年10月から、地域に親しまれている「こすど地区公民館報」は、令和3年8月号(今号)をもちまして、おかげさまで創刊800号となりました。800号を記念して、4月号で題字を公募したところ、4点の申し込みがあり、館報編集委員による投票の結果、新保の間野江里さんより応募いただいた題字を採用することとなりました。また、題字の背景については、「小須戸橋」をモチーフとしてデザインしました。今後とも変わらずご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。



原稿入稿後、印刷業者がDTP(デスクトップパブリッシング)ソフトを使って紙面を制作します。



毎月第3水曜日に開かれる館報編集会議において今月号の評価と反省、翌月号以降の記事の方針を議論します。

### 公民館報ができるまで



公民館事業や地域の明るい話題について取材をし、原稿を作成します。



レイアウト案が届いたら、複数人で誤字脱字がないかなどの校正チェックを行います。



校了の連絡後、オペレーターが製版作業を行います。



業務用の印刷機を使って印刷を行います。



刷り上がった印刷物を断裁して2分割します。(断裁前は約畳半畳ほどの大きさ)



自治会毎に封筒詰めを行い、ワークセンターほほえみの方が各自治会長宛に配達し、お手元に届きます。

# こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

・ホームページ



・Facebookの情報も随時更新中

## 公民館報800号記念企画

### 「完成！公民館報アーカイブス」

800号記念企画として、昔の館報の電子化と新潟市ホームページへのアップロードが完了し、第1号から最新号まで閲覧できるようになりました。

パソコン、スマートフォンでの具体的な閲覧方法は下記のとおりです。

また、印刷したものを綴った冊子をまちセンロビーに設置しました。

来年度の公民館事業として、「昔の公民館報の記事から小須戸地区の歴史や出来事を振り返る事業」や、「復活して欲しい公民館事業」などを募りたいと思います。

新年度事業についてご要望がある方は題字の下の連絡先までお寄せください。



小須戸まちづくりセンターへ設置した冊子の写真(左)

「題字に採用されて」  
地域住民に親しまれている公民館報の八百号達成、誠におめでとうございます。  
昭和二十四年から欠かすことなく継続して発行されての八百号、これはひとえに先人達の情熱とその時々の担当者各位の御努力の賜物であり、誇るべきこすど地区の文化遺産であると思います。  
今回、その記念企画としてデジタル縮刷版が作成されること、当地生まれの私にとって若い頃の懐かしいことなど、折にふれ閲覧できると楽しみにしております。  
題字募集もありました。公民館には、講座や会合などでお世話になっていて親しみもあります。ポツでもいいから参加することに意義があると軽い気持ちで楽しみながら書いて応募したのでした。それがはからずもおとり上げいただくことになり、うれしい反面、恐縮しております。  
その後、先の故坂井清風先生、その前には故佐藤江山先生の立派な題字を拝見して、何だか心もなくなりました。そんな題字ではありますが、この館報がこれからは変わらぬ愛読されることを願っています。

間野 江里さん(新保)



須佐 馨さん(水田)

40数年前から田園地帯を横断するバイパス道路の計画が示されてきた一般国道403号小須戸・田上バイパスが令和二年三月に開通しました。開通に伴い田園風景は一変しましたが、それより私が一番驚いたのは、その交通量の多さです。

朝は通勤車、それを過ぎると大型トラック、トレーラー・ダンプ・商業車、休日になると郊外型の商業施設に行き帰りと思われる車が集中して走っています。開通に伴い、地区内の交通の流れも変わり便利に

なりました。一面もありません。バイパスに乗り入れる狭い取付け道路の交通量が増え、すれ違いもままならなくなり近い将来に拡幅改修の必要があると思います。新しい道路ができるのと、さらなる道路の新設、改修が必要になる

こともあると思います。小須戸橋の架け替え工事、それに伴う取付け道路の計画があります。が、まだまだ地方では車社会が続くと思われ、将来を見据えた道路整備が必要ではないでしょうか。

## スマートフォンの方

検索サイトや、新潟市ホームページ内で「こすど地区公民館報」と入力して検索。もしくは右記の2次元バーコードよりアクセスしてください。



## パソコンの方

検索サイトや新潟市ホームページ内で「こすど地区公民館報」と入力して検索。

## 小須戸今昔展 vol.3 「本町二番町通り」

(協力:小須戸コミュニティ協議会 小須戸アーカイブス)



①大正初期

明治34年の大火で町の殆どが消失したが復興した。瓦屋根の立派な雁木が見事。屋根石の載った大屋根も見える。



②平成元年(1989年)

昔の面影を残す建物も見える。30軒近い商店が軒を連ねていた。小須戸まつりには、この通りで地元企業や金融機関等で大民謡流しや町民綱引き大会が行われ賑わった。



③令和2年(2020年)

現在も30年前と同じ風景に見えるが、薩摩屋さんは「町屋ギャラリー」に、割野屋さんは「雛の町屋」に変わった。そこを訪ねて来る町外の人たちの姿を時々見受ける。

◆小須戸神楽保存会より◆  
令和3年度  
小須戸神楽舞について(お知らせ)  
日時:8月25日(水)午前中  
場所:諏訪神社、小須戸橋 ほか

○小須戸神楽(五番町神楽)の由来  
例年8月25日に行っている「神楽舞」は別名「厄除け舞」といい、北端の御旅所、東は出雲神社、南は雁巻、西は小須戸橋、中央は住吉様の御旅所、それぞれ厄払いを行い、四方を清め、小須戸地内に厄が入って来ないように行っています。旧小須戸町でその昔、「コロリ病」(コレラ)が流行したときは、町の四方を舞い清め、それ以降コレラの感染はなくなったと聞いております。  
このご時世だからこそ、小須戸を舞い清め小須戸にコロナが入って来ないように願いを込めて、8月25日(水)に神楽の厄払いを行いたいと思います。

○新型コロナウイルス感染防止対策  
小須戸神楽保存会としても、感染防止対策として、「舞場所を限定・縮小する」、「神楽の舞手を3人に限定する」、「太鼓叩き等のマスクの着用」、「舞う際は一定間隔を空ける」などの対策を施した上で実施します。  
◆問合せ先:小須戸神楽保存会会長 高橋洋一 (38-2510)

小須戸コミュニティ協議会  
からのお知らせ

「中学生の居場所」としてまちづくりセンターを1日開放します!!  
●卓球・スカットボール・リサイクル石けんづくり・お楽しみコーナー(ヨーヨー釣り・サイコロゲーム)・無料のカフェコーナー(ヨーヨー釣り)

日時:8月22日(日) 11時~17時 申込不要・参加無料  
●無料のカフェコーナー(ヨーヨー釣り)

夏休みの思い出にぜひお越しください。

# 7月の公民館事業を終えて

## ●幼児期家庭教育講演会

7月15日(木)小須戸まちづくりセンターにおいて、「女性とベビー・幼児のための総合教室kiteme」の保育士である辻川陽子先生をお迎えし、「乳幼児期の育脳と発達を知ってココロとカラダを見つめよう」というテーマで幼児期家庭教育講演会を行いました。

講演では「リフレーミング」というお子さんの目の前で見えている行動について枠組みを全部変えてしまう手法を使って、例えば『落ち着きがない子』は『好奇心旺盛な子』であるとか心から思っている子を見てあげると、その子は自分のセルフイメージを『僕は好奇心旺盛な子なんだ』と違って大きく変わるのだが、反対に傍にいる大人が『この子は本当に落ち着きがなくって』と捉えていると『どうせ僕はダメなんだ』とネガティブな方へ陥ってしまいます。そのため、是非今すぐ常にリフレーミングする癖を身に付けてもらって、下のスライドで示した事例のように『あなたは○○だよね』と枠組み(見方)を変えた言葉を子どもに伝えてあげると、自分の肯定的な要素として全部受け止めてくれて親子関係の好循環につながりますよ。』などのお話がありました。

### ①子どもの見方を変える癖をつけよう!!

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>★落ち着きがない</li> <li>★あきっぽい</li> <li>★気が強い</li> <li>★反抗的</li> <li>★口が悪い</li> <li>★消極的</li> <li>★だらしない</li> <li>★頑固</li> <li>★しつこい</li> <li>★乱暴</li> </ul> | ➔ | <ul style="list-style-type: none"> <li>★好奇心旺盛</li> <li>★情報処理能力が高い</li> <li>★積極的</li> <li>★自立心がある</li> <li>★はっきりしている</li> <li>★ひかえめ・優しい</li> <li>★細かい事は気にしない</li> <li>★意志が強い</li> <li>★継続力がある</li> <li>★たくましい</li> </ul> |
|---|---|---|



「リフレーミング」のスライド(左)と講師の辻川陽子先生(右)

## 小須戸柔道スポ少から3名全国大会出場へ!!

鈴木雄大さん(小須戸中3年)、若林久玲愛さん・古市晴香さん(矢代田小6年)



鈴木さん

7月18日(日)上越市の謙信公武道館において県中学総体柔道大会が行われ男子個人55kg級で鈴木雄大さん(小須戸中学校3年)が優勝、60kg級で花沢右京さん(小須戸中学校3年)が5位入賞しました。鈴木さんは8月3日(火)に北信越大会(富山県)、8月25日(水)に全国大会(群馬県)に出場します。全国大会でも一本をとる柔道を貫いて頑張ってください。



若林さんと古市さん

また、7月22日(木・祝)上越市の謙信公武道館において文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道形競技会の県予選が行われ、若林久玲愛さん・古市晴香さん(矢代田小6年)ペアが優勝しました。2人は11月21日(日)に東京・講道館で開催される全国大会に出場します。全国大会でも息のあった「投の形」の演武を期待しています。

## 第15回 秋葉区美術展 作品募集

美術を愛好する区民の創作作品を発表する場として、また生活の中に美術を味わう楽しさを普及していくことを目的として第15回秋葉区美術展を開催します。多くの皆様の出品をお待ちしています。

- 【出品部門】 日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真
  - 【応募資格】 秋葉区内に在住または通勤・通学(教室・講座等も含む)している人。但し中学生以下は応募できません。
  - 【出品料】 ・一般 1点1,500円 2点2,000円 ・高校生 1点500円 2点1,000円  
※出品料は、作品搬入の際、部門毎に納入
  - 【作品搬入】 ・日時 11月13日(土) 午前9時~正午(時間厳守)  
・場所 新潟市新津美術館  
※その他詳しい出品規定・作品搬入・審査などについては新潟地区公民館にお問合せください。
  - ・会期 11月20日(土)~11月28日(日) 午前10時~午後5時(ただし最終日の11月28日(日)は午後3時まで)
  - ・会場 新潟市新津美術館 ※入場無料
  - ・問合せ 新潟地区公民館 ☎0250-22-9666
  - ・主催 新潟市秋葉区
  - ・共催 新潟美術協会 小須戸文化協会
- ※新型コロナウイルスの感染状況によっては日程等に変更が生じる可能性があります。



昨年の秋葉区美術展の様子

## 小須戸地区図書室 新刊案内

- 【一般書】
  - ・『臨床の砦』 夏川 卓介/著 (小学館)
  - ・『沈黙の終わり(上・下)』 堂場 瞬一/著 (角川春樹事務所)
  - ・『白鳥とコウモリ』 東野 圭吾/著 (幻冬舎)
  - ・『52ヘルツのクジラたち』 町田 そのこ/著 (中央公論新社)
  - ・『傷痕のメッセージ』 知念 実希人/著 (KADOKAWA)
  - ・『お探し物は図書室まで』 青山 美智子/著 (ポプラ社)
  - ・『高瀬庄左衛門御留書』 砂原 浩太郎/著 (講談社)
- 【児童書】
  - ・『けんだましようぶ』 にしひら あかね/作 (福音館書店)
  - ・『富岡製糸場 生糸がつくった近代の日本』 田村 仁/写真・文 (福音館書店)
  - ・『ねずみくんのピッピクニック』 なかえ よしを/作, 上野 紀子/絵 (ポプラ社)

## 秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

♡子育て支援の紹介♡  
子育て中は、心配や不安になることがあると思います。一人で抱え込まずに、お気軽にご相談ください。

<育児相談>  
毎月、予約制で行っています。お子さんの発育や発達、授乳や離乳食についてなど育児全般の相談ができます。妊娠中や産後のお母さんの相談にも応じています。

<妊娠・子育てほっとステーション>  
☎0250-25-5685  
区役所健康福祉課に設置しており、妊娠・出産・子育てについての相談ができます。

<子育て支援センター>  
保育士による子育て相談、親子遊びなどの催し、フリースペースの開放などを行っています。秋葉区内に5か所あります。他に、離乳食の講習会やお子さんの発達段階に応じた健診があります。子育てに関する情報は、区だよりや市のホームページでもお知らせしています。

### 文芸欄

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>短歌</b> (自由吟)</p> <p>紫陽花の雨たつぷりと頭首たれ<br/>遠く雷なり音がしてくる</p> <p>玲 久保ミネ子</p> | <p><b>川柳</b> (気楽)</p> <p>七夕やかわいい願ひ短冊に<br/>食と趣味楽しむ老後気楽だね</p> <p>奉 和田 崇<br/>会 田 修<br/>保 科 志<br/>増 井 都<br/>浄 登 としお<br/>あ 登 二<br/>保 科 崇 二 郎</p> | <p><b>俳句</b></p> <p>早朝の静けさ破るほととぎす<br/>庭先に色取り添へし立葵<br/>帰り来ずまっかな薔薇は咲いたけど<br/>郭公や背を押されて励まされ<br/>甕の中ゴロゴロゴロと蜥蜴の子<br/>牡丹の散り果てし後鎮まれり<br/>良き夢か昼寝の夫の笑顔見ゆ<br/>起こさぬやう庭師揃って三尺寝</p> <p>間 風 本 長 中 馬 吉 吉<br/>野 間 多 澤 野 場 田 澤<br/>え 幸 子 玲 子 綾 松 文<br/>り 子 子 子 子 子 子</p> |
|---|---|---|

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、8月24日(火)までに小須戸地区公民館へ。  
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)



## いこてば農園で縁起物発見♪

7月18日(日)、茶の間有志で“いこてば農園”のじゃが芋掘りをしたところ、おもしろい芋を発見! お地蔵様?! さるぼぼ?! 皆さんに、ご利益ありますように・・・

地域の茶の間『いこてば、こいてば、ふれあい会館』は、毎月第3木曜日13:30~小須戸地区ふれあい会館で、新型コロナウイルス感染予防対策を万全にして楽しくやっています。

誰でも大歓迎!! お待ちしています。

◀何に見えるかな?

## 小須戸コミュニティ協議会の 事務室を出張所棟2階に新設しました

新しく整備された事務室

待望の小須戸コミ協の事務室が、小須戸出張所棟2階に新設されました。これまでまちづくりセンターの事務室に間借りしていましたが、こすど出張所2階、「包括支援センターこすど」が入っていた部屋を新たに小須戸コミ協の事務室として使うことができました。この度の新設に伴い新たな電話と専用FAXを設置しました。

- ◆電話: 0250-47-3665
- ◆FAX: 0250-47-3675

これからも地域コミュニティ活動の拠点として、地域の皆さま方よりお力添えくださいますよう、よろしく願いいたします。

小須戸コミュニティ協議会  
会長 佐藤 喜代一

編集委員の つぶやき

地域の皆さんと共に歩んできた「こすど地区公民館報」、800号おめでとうございませう。梅雨が明け暑い日が続きます、水分補給しながら熱中症対策をおこたりなく、元気に乗り切りませう。